

ベナン共和国 アボメ・カラヴィ郡 アボメ・カラヴィ・センター アイチェジ公立小学校

アイチェジはアボメ・カラヴィ郡アボメ・カラヴィ行政区にある地区です。アボメ・カラヴィ郡はベナン南部のアトランティック州にあります。アボメ・カラヴィ郡の人口は約 15 万人、アイチェジには現在約 2480 人の住民がいて、そのうちおよそ 1100 人が未成年です。住民は小規模手工業と商売で生計を立てています。多くの人たちが給料を稼ぎにコトヌーへ通勤しています。

アイチェジ公立小学校は 2009 年に創立され、2009 年 12 月 31 日に 2009 N° 003MEMP/MEF/DC/SGM/DP という番号で登録されています。当時はカラヴィ近郊のこの町はまだ非常に小さいものでした。大都市コトヌーの住人たちは街の喧騒と埃から逃れようと、アイチェジに家族ごと移り住みました。当時、この土地はまだセメ・アイチェジ・マキンサと呼ばれていて、ここに建てられた最初の学校はその名前になっています。2009 年に開校されたときは、まだ 15 人の児童しかいませんでした。9 年後、児童数は 411 人に増えました。堅固な材料で建てられた教室は狭すぎるようになりました。そのため学校教育省はグループ B の開設を決定しました。2023-2024 年度、アイチェジ小学校の B グループには 244 名の児童が通学しています。全クラスにおいて女子の割合が高いことは注目に値します。B グループの 244 人の児童のうち、129 人が女子です。

2019 年、エコール・ド・ソリダリテ協会はこの学校のために、3 教室、事務室、そして倉庫を備えた建物を建設しました。しかし、現在ではこれらの教室はもはや十分ではありません。B グループの子どもたちの一部は、古いヤシの枝でできた簡易な小屋で再び授業を受けています。2024 年 5 月 11 日、激しい嵐が小屋の屋根を吹き飛ばし、脇の小道に落下させました。幸いにも週末だったため、児童たちに怪我はありませんでした。また、帰宅を急ぐ通行人もいませんでした。学校関係者と保護者は、日曜日に礼拝を行い、誰も怪我をしなかったことを神に感謝しました。

しかし、これからどうすべきかという疑問も生じました。この屋根は 2023 年 9 月、新学年が始まる前に保護者の方々によって新しくしたばかりでした。しかし、もはや修理費用が払えないため、私たちの協会に助けを求めてきました。また、児童たちが授業を受けている時に同じことが起こるのではないかと懸念しており、3 教室の校舎の建設を望んでいます。



屋根は壁の向こう側まで吹き飛ばされました。



現在、児童たちは一時的に教室に詰め込まれ、4人で机を共有しています。教室には108人の子どもがいます。



2019 年にこの学校のために建設された建物：

